

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公開番号】特開 2019-81077 (P2019-81077A)

【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2019-39976 (P2019-39976)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の契機で抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選結果が特別結果である場合、遊技者に利益を付与する利益付与手段と、

前記抽選結果に基づく表示演出を表示可能な第 1 表示手段と、

前記第 1 表示手段の周縁近傍に設けられ、前記第 1 表示手段の前面側を移動可能な第 2 表示手段と、

前記第 1 表示手段および第 2 表示手段を用いて前記抽選結果に基づく演出を実行する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記第 1 表示手段にて前記抽選結果に基づく表示演出が実行されている場合に、前記第 2 表示手段が待機しているときの前記変動領域に対して正面視でみたときに重なる特定位置に前記第 2 表示手段を移動させ、該特定位置にある前記第 2 表示手段と前記第 1 表示手段とで前記抽選結果に基づく第 1 演出を実行可能であり、該第 1 演出においては前記第 2 表示手段が所定態様とされ、

前記第 1 演出を行った後、前記第 2 表示手段を前記第 1 表示手段の周縁近傍へと移動させ、その後、前記第 2 表示手段を前記特定位置へと向かうように移動させる第 2 演出を実行可能であり、該第 2 演出においては前記第 2 表示手段が前記所定態様と異なる特定態様とされ、該第 2 演出によって前記特別結果であることを遊技者に報知可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するために本発明の遊技機は、請求項 1 において、所定の契機で抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選結果が特別結果である場合、遊技者に利益を付与する利益付与

手段と、

前記抽選結果に基づく表示演出を表示可能な第 1 表示手段と、

前記第 1 表示手段の周縁近傍に設けられ、前記第 1 表示手段の前面側を移動可能な第 2 表示手段と、

前記第 1 表示手段および第 2 表示手段を用いて前記抽選結果に基づく演出を実行する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記第 1 表示手段にて前記抽選結果に基づく表示演出が実行されている場合に、前記第 2 表示手段が待機しているときの前記変動領域に対して正面視でみたときに重なる特定位置に前記第 2 表示手段を移動させ、該特定位置にある前記第 2 表示手段と前記第 1 表示手段とで前記抽選結果に基づく第 1 演出を実行可能であり、該第 1 演出においては前記第 2 表示手段が所定態様とされ、

前記第 1 演出を行った後、前記第 2 表示手段を前記第 1 表示手段の周縁近傍へと移動させ、その後、前記第 2 表示手段を前記特定位置へと向かうように移動させる第 2 演出を実行可能であり、該第 2 演出においては前記第 2 表示手段が前記所定態様と異なる特定態様とされ、該第 2 演出によって前記特別結果であることを遊技者に報知可能である

ことを特徴とする。